

説明会での主な質問と回答
JR南武線跨線橋（仮称）下部工事 工事説明会
（府中3・2・2の2及び国立3・3・2号東京八王子線）

開催日時：平成29年9月7日（木） 19時から20時30分

開催場所：府中市立府中第十中学校 武道場

Q 1 杭の長さ、根入れはいくつなのか。また、杭打ち等施工中の騒音振動はどうなるのか。杭を固定するために最後に打ち込むことで振動するのではないか。

A 1 杭長は8～8.5m、根入れは4m程度です。杭の設置は、打ち込む工法ではなくスクリューで掘った後に鋼材を挿入する、騒音・振動が少ない工法で施工を予定しています。

Q 2 杭を抜く際に振動があるのではないか。

A 2 振動を抑えるため、滑車型の引抜機による施工を予定しています。

Q 3 土の搬出時のトラックは何台くらいになるのか。また、現場へはどこから入ってくるのか。

A 3 土の搬出時は、ダンプトラックが一日最大で50台程度の出入りを予定しています。原則、現場への入場は日野バイパスからとし、退場時は国道20号を府中方面に左折します。

Q 4 自転車と歩行者の通行部を分けてほしいと考えているが、設計ではどのように考えているのか。

A 4 一般部の環境施設帯については現在、沿道住民の皆さんと歩道や植樹帯の構成などを検討しているところです。原則、自転車は車道を走ることとされていますが、一般部では環境施設帯の中で自転車と歩行車を分離する計画です。

ただし、立体交差部において自転車と歩行者を分離して歩道を作ることは、幅員の関係で難しいと考えています。

Q 5 さくら通り延伸部（府中3・4・5、国立3・4・5）の事業進捗はどうなっているのか。また、東八道路とさくら通りを同時に整備するとの話であったが、今どのような状況か。

A 5 府中3・4・5号線及び国立3・4・5号線は、現在、用地取得を進めているところです。引続き用地取得を進めながら、設計を進めていきたいと考えています。

府中3・2・2の2号線と府中3・4・5号線（国立3・4・5号線）については、同じタイミングで開放することが望ましいと考えていますが、用地取得の進捗によることとなります。

Q 6 工事による影響がないとは思えないのだが、家屋補償はどうなるのか。

A 6 全く振動や騒音が出ないということはありません。しかし、工事中の勧告基準が条例等で定められており、その基準を守りながら施工を行います。

また、家屋の補償等について、家屋の損傷と工事との因果関係が特定できれば、補償する場合もあります。

Q 7 橋梁の構造や高さを知りたいが、どのようなイメージとなるのか。

また、橋梁の高さが住宅の2階程度になると思うが圧迫感があるのではないか。

A 7 この周辺では国分寺陸橋（国分寺3・2・8）と同様の勾配となります。

橋梁高さとしては、5.6mとなり、一般家屋の2階建てくらいの高さとなります。

また、本線と民地の間には8m～9m程度の幅の側道ができるため、圧迫感は少ないと考えます。

Q 8 立体部にかかる国立市道は将来的に通過することができるのか。

A 8 将来的には通過できなくなりますが、側道による迂回は可能です。

Q 9 工事の安全対策はどのような対応をするのか。

A 9 工事の安全対策については警察とも協議を行いながら誘導員の配置を検討しています。また、工事車両と一般車両がなるべく合流しないように搬入路を整備しておりますが、現道との交差部や合流する箇所については、適切に誘導員を配置します。

Q 10 橋梁のような高さのある構造物ができるとう当たりが悪くなってしまうと思うのだが、どう考えているのか。

A 10 当該路線は環境影響評価条例に基づきで事前に予測評価を行っております。予測は太陽が最も低くなる冬至日による予測を行っており、橋梁ができた際、橋梁西側の一部に影が発生しますが、立体交差部には8mの側道を設けることとしており、影響は少ないと考えています。

Q 11 説明では、将来踏切廃止との話であったが、新設道路完成後は線路を越えるために新設の道路を通るしかないのか。側道を通して線路をどのように越えられるのか。

A 11 線路を越えるためには新設道路を通していただくこととなります。側道を通して線路を越えることはできません。

Q 12 道路完成後の迂回路がかなり遠いように感じるのだが、もう少し検討できないか。

（国分寺3・2・8の開通区間では、既存の内藤橋通りを使って側道からJRを横断できるようになっている）

A 12 周辺道路の状況や交通規制等を考慮した中では、立体交差部付近では、その構造上迂回をさけることはできないため、新設道路を利用したこのような迂回路計画となります。